

平成 23 年 10 月 19 日

ご投資家の皆様へ

T & Dアセットマネジメント株式会社

中国株式市場の下落と弊社投資信託への影響について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
世界金融市場の足許の市場動向と弊社投資信託の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。
今後ともお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

足許の市場動向

10月18日の中国株式市場では、欧米株式市場の下落と中国経済指標の悪化を受けて、ハンセン総合指数が前日比 4.88%と、ここ2週間で最大の下落となりました。

この欧米株式市場の下落は、17日にドイツ政府当局者が今週末に開かれる欧州連合(EU)首脳会議で抜本的な欧州債務危機対策が提示されることはないとの見方を示し、市場の過度な期待をけん制したことから、市場のセンチメントが悪化したことによるものと考えられます。

この流れを引き継いだ中国株式市場でも、中国国家统计局が発表した2011年7-9月期GDP成長率が市場予想値を下回ったうえに、2009年以来の低い成長率であったために、景気減速が鮮明になってきたことが嫌気され、ハンセン総合指数が前日比 4.88%、ハンセン総合小型株指数(税引前配当込み)が前日比 6.41%と大幅に下落しました。

今後の見通し

- コスモ・中国株厳選ファンド [愛称:百花繚乱]
- 中国株厳選ファンド 3ヵ月決算型 [愛称:百花繚乱3ヵ月決算]
- T & D中国中小型株ファンド [愛称:ゴールドドラゴン]

欧州債務問題の影響が世界的な景気後退につながるとの懸念により、当面は市場のセンチメントを改善させるポジティブな材料が乏しいと考えられ、中国株式市場は一定のレンジ内での推移を見込んでいます。一方、中国国内において銀行借り入れ環境の悪化が主に民間企業の事業活動の足かせになることが懸念されていますが、このことが中国経済全体に与える影響は限定的とみています。そのような中、現在の中国株式市場の株価水準は世界景気の二番底入りを織り込み始めているとみられており、欧州債務問題について欧州当局が適切な措置を講じることになれば、株式市場のセンチメントが改善され、株価の上昇が期待されます。

以上

◆ 弊社ファンドへの影響

ファンド名	平成 23 年 10 月 18 日 基準価額 (円)	平成 23 年 10 月 19 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
コスモ・中国株厳選ファンド	7,112	6,737	375	5.27
中国株厳選ファンド3ヵ月決算型	5,445	5,158	287	5.27
T & D 中国中小型株ファンド	6,520	6,050	470	7.21

◆ 市況情報

(小数点第2位以下四捨五入)

	平成 23 年 10 月 17 日	平成 23 年 10 月 18 日	騰落率 (%)
ハンセン総合指数	2,613.93	2,486.49	4.88
ハンセン総合小型株指数 (税引前配当込み)	2,946.46	2,757.63	6.41

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、10月17日から10月18日としています。

	平成 23 年 10 月 18 日	平成 23 年 10 月 19 日	騰落率 (%)
香港ドル(*)	9.88	9.86	0.20

(*) 為替レートは対顧客公示相場の仲値

出所: ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

本資料は投資者に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の購入をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・**上限 3.675%(税込)**

信託財産留保額・・・**上限 0.5%**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・**上限 1.995%(税込)**

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、予めその料率、上限額等を具体的に示すことができません。

当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。